

令和元年度豊川市病院事業会計補正予算（第1号）

第18号議案

令和元年度豊川市病院事業会計補正予算（第1号）

（総則）

第1条 令和元年度病院事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的支出の補正）

第2条 令和元年度病院事業会計予算（以下「予算」という。）第3条に定めた収益的支出の予定額を次のとおり補正する。

支 出

款 項	既決予定額	補正予定額	計
	千円	千円	千円
1 病院事業費用	16,043,424	156,000	16,199,424
1 医業費用	15,635,111	156,000	15,791,111

~~令和2年2月21日提出~~

豊川市長 竹本幸夫

令和元年度豊川市病院事業会計補正予算（第1号）に関する説明書

令和元年度豊川市病院事業会計補正予算実施計画

収益的支出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備考
1 病院事業 費用			千円	千円	千円	
			16,043,424	156,000	16,199,424	
	1 医業費用		15,635,111	156,000	15,791,111	
		2 材料費	3,473,010	96,000	3,569,010	追加
		3 経費	2,635,820	60,000	2,695,820	追加

令和元年度豊川市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書

(平成31年 4月 1日から令和2年 3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	△ 1,159,911
減価償却費	1,125,548
長期前払消費税償却	39,584
修学資金返還免除額	15,200
有形固定資産除却費	30,800
有形固定資産除却損	38,146
有形固定資産売却損	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	154,964
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 15,807
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,189
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	5,043
長期前受金戻入額	△ 359,556
受取利息及び受取配当金	△ 9,593
支払利息	22,681
未収金の増減額(△は増加)	△ 88,005
未払金の増減額(△は減少)	770,745
たな卸資産の増減額(△は増加)	500
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△ 5,858
その他	12,161
小計	613,832
利息及び配当金の受取額	9,593
利息の支払額	△ 22,681
業務活動によるキャッシュ・フロー	600,744
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 1,204,737
有形固定資産の売却による収入	10
固定資産の撤去に伴う支出	△ 30,800
投資有価証券の取得による支出	△ 200,000
長期貸付金の貸付による支出	△ 1,440
長期貸付金の返済による収入	10
寄附金による収入	10
一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入	369,138
基金の繰入による収入	500,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 567,809
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	635,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 738,277
リース債務の支払による支出	△ 20,488
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 123,765
資金増加額(又は減少額)	△ 90,830
資金期首残高	3,343,293
資金期末残高	3,252,463

令和元年度豊川市病院事業予定貸借対照表(当年度分)

(令和2年 3月31日)

(単位 千円)

資産の部

1 固定資産

(1)有形固定資産

イ 土地		2,512,311
ロ 建物	12,704,815	
減価償却累計額	<u>△ 3,652,996</u>	9,051,819
ハ 構築物	657,585	
減価償却累計額	<u>△ 291,012</u>	366,573
ニ 器械備品	7,474,263	
減価償却累計額	<u>△ 5,701,405</u>	1,772,858
ホ 車両及び運搬具	58,962	
減価償却累計額	<u>△ 53,595</u>	5,367
ヘリース資産	676,079	
減価償却累計額	<u>△ 82,753</u>	593,326
ト建設仮勘定		<u>383,721</u>

有形固定資産合計 14,685,975

(2)無形固定資産

イ 電話加入権		8,199
ロ その他無形固定資産	15,950	
減価償却累計額	<u>0</u>	15,950
ハ ソフトウェア仮勘定		<u>655,438</u>

無形固定資産合計 679,587

(3)投資その他の資産

イ 投資有価証券		300,000
ロ 長期貸付金	23,510	
貸倒引当金	<u>△ 22,080</u>	1,430
ハ 基金		2,500,000
ニ 長期前払消費税		509,072
ホ 破産更生債権等	29,684	
貸倒引当金	<u>△ 29,684</u>	<u>0</u>

投資その他の資産合計 3,310,502

固定資産合計 18,676,064

2 流動資産

(1)現金預金		3,252,463
(2)未収金	2,254,531	
貸倒引当金	<u>△ 19,272</u>	2,235,259
(3)貯蔵品		<u>98,251</u>

流動資産合計 5,585,973

資産合計 24,262,037

負債の部

3 固定負債

(1)企業債

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債		<u>12,287,427</u>
-----------------------	--	-------------------

企業債合計 12,287,427

(2)リース債務 573,081

(3)引当金

イ 退職給付引当金		2,833,568
ロ 修繕引当金		<u>3,187</u>

引当金合計	<u>2,836,755</u>	
固定負債合計		15,697,263
4 流動負債		
(1) 企業債		
イ 建設改良費等の財源 に充てるための企業債	<u>726,749</u>	
企業債合計	726,749	
(2) リース債務	20,651	
(3) 未払金	2,021,302	
(4) 引当金		
イ 賞与引当金	426,986	
ロ 法定福利費引当金	<u>75,454</u>	
引当金合計	502,440	
(5) その他流動負債	<u>84,818</u>	
流動負債合計		3,355,960
5 繰延収益		
(1) 長期前受金	2,830,126	
収益化累計額	<u>△ 2,434,911</u>	
繰延収益合計		<u>395,215</u>
負債合計		<u>19,448,438</u>
資本の部		
6 資本金		6,487,493
7 剰余金		
(1) 資本剰余金		
イ 補助金	476,000	
ロ 負担金	268,524	
ハ 寄附金	<u>10</u>	

資本剰余金合計		744,534
(2) 利益剰余金		
イ 当年度未処理欠損金	<u>2,418,428</u>	
利益剰余金合計		<u>△ 2,418,428</u>
剰余金合計		<u>△ 1,673,894</u>
資本合計		<u>4,813,599</u>
負債資本合計		<u>24,262,037</u>

注記

I. 重要な会計方針

1 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・貯蔵品 先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ・満期保有目的債券 償却原価法（定額法）

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）

- ・減価償却の方法 定額法
 - ・主な耐用年数
- | | |
|---------|--------|
| 建物 | 15～47年 |
| 構築物 | 10～15年 |
| 器械備品 | 4～15年 |
| 車両及び運搬具 | 4～6年 |

(2) 無形固定資産

- ・減価償却の方法 定額法
- ・主な耐用年数 その他無形固定資産 5年

(3) リース資産

- ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産
自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当事業年度末における退職手当の要支給額に相当する金額のうち、「退職手当に係る負担金の取扱いに関する確認書」に基づき、他会計が負担する部分を除く額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末手当・勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末手当・勤勉手当の支給に係る法定福利費の支払に備えるため、当事業年度末における支払見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損等による損失に備えるため、実績率等による回収不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。ただし、現病院建設事業に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、20年間で均等償却を行っている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表に計上されている企業債（1年内に償還予定のものも含む。）のうち、他会計が負担すると見込まれる額は、6,507,088千円である。

2 引当金の取り崩し

(1) 退職給付引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、退職手当として264,084千円を支給するため、退職給付引当金264,084千円を取り崩すこととする。

(2) 賞与引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当として642,857千円を支給する

令和元年度豊川市病院事業会計補正予算説明書

収益的支出

款	項	目	節	既決予定額 千円	補正予定額 千円	計 千円	説明
1 病院事業費用				16,043,424	156,000	16,199,424	
	1 医業費用			15,635,111	156,000	15,791,111	
		2 材料費		3,473,010	96,000	3,569,010	
			2 診療材料費	1,270,000	96,000	1,366,000	追加
		3 経費		2,635,820	60,000	2,695,820	
			11 修繕費	119,000	60,000	179,000	追加
合 計				16,043,424	156,000	16,199,424	

ため、賞与引当金 389,797 千円を取り崩すこととする。

(3) 法定福利費引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、6月の期末手当及び勤勉手当の支給に係る法定福利費として 113,607 千円を支払うため、法定福利費引当金 70,411 千円を取り崩すこととする。

(4) 貸倒引当金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、長期貸付金 15,200 千円の返済を免除するため、貸倒引当金 15,200 千円を取り崩すこととする。また、当事業年度において、未収金 1,773 千円及び破産更生債権等 1,335 千円を不納欠損とするため、貸倒引当金 3,108 千円を取り崩すこととする。

3 基金の目的使用による取り崩し

当事業年度において、総合医療情報システム更新に係る建設改良費として 1,077,870 千円を支払うため、基金 500,000 千円を取り崩すこととする。

4 修繕引当金に関する経過措置

平成26年3月31日以前に引き当てられたものについては、引き続き従前の例により取り崩すこととする。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当病院事業会計は、病院事業セグメントの単一セグメントであるため、記載を省略している。